

# 技術で未来拓く

⑭ 産総研の挑戦

として注目され、「都市鉱山」と呼ばれている。

## 都市鉱山の開発戦略カギ

一言メッセージ

将来、わが国に必要な

不可欠な金属について、

どの時期にどの廃

製品からの金属を回

収するリサイクル技術

を確立すべきかの予

測、データベースを利

用した自律制御型リサ

イクル技術の開発、さ

らに資源循環を支援す

る製品設計技術と連携

した、戦略的な都市鉱

山開発が重要である。

産業技術総合研究所

(産総研)では、20

13年11月から「戦略

的都市鉱山研究拠点

(Strategic Urban

Mining REsearch

技術向上に伴う都市鉱

山

の確保は、日本のモノ

づくりに産業にとって喫

緊の課題である。使用

済みの電気電子製品に

大量に含まれる有用金

属は、有力な国内資源

として注目され、「都市

### 希少金属の国内供給源

Base: SURE)を

立ち上げ、研究員36人

で活動を始めた。これ

を核に14年7月からは

企業連携のコンソーシ

アム活動も開始した。

早期社会導入を

本コンソーシアム

(会長 産総研・大木

達也)では、SURE

が企業、業界団体、政府

機関などと連携し、①

経済的な都市鉱山を確

立し、わが国の金属資

源循環率(自給率)の向

上②リサイクル業者の

技術向上に伴う都市鉱

山



山市場の拡大③わが国の成長とリサイクルプ

の成長とリサイクルプ

の成長とリサイクルプ

の成長とリサイクルプ

の成長とリサイクルプ

の成長とリサイクルプ

の成長とリサイクルプ

の成長とリサイクルプ

の成長とリサイクルプ

の成長とリサイクルプ

の成長とリサイクルプ

の成長とリサイクルプ

の成長とリサイクルプ

の成長とリサイクルプ

の成長とリサイクルプ

の成長とリサイクルプ

の成長とリサイクルプ

の成長とリサイクルプ

の成長とリサイクルプ

の成長とリサイクルプ

の成長とリサイクルプ

の成長とリサイクルプ

の成長とリサイクルプ

の成長とリサイクルプ

の成長とリサイクルプ

の成長とリサイクルプ

### △概要

▲

SUREコ

ンソーシ

ア

ンソーシ

ア

ンソーシ

「高効率な資源循環シ

に、レアメタルなども

に、レアメタルなども

に、レアメタルなども

に、レアメタルなども

に、レアメタルなども

に、レアメタルなども

わが国の都市鉱山の

有効活用のために、資

源価値の高い小型家電

開発の早期の社会実現

が期待される。

が期待される。

が期待される。

に、レアメタルなども

に、レアメタルなども

に、レアメタルなども

に、レアメタルなども

に、レアメタルなども

に、レアメタルなども

に、レアメタルなども

産総研環境管理研究部門資源選別プロセス研究グループ主任研究員

林 直人



東北大助教を経て11年産総研入所。粉体・混相流シミュレーションを駆使し、物理選別(粉碎・固固分離)の最適設計と、新たな選別メカニズムの創出を目的として、画像認識やAIを開発し、リサイクル技術の移り変わりが激しい廃棄物のリサイクル技術を開発したい。

(木曜日に掲載)